

585 Quanta System Q1説明書

イタリアQuanta社製の585nmダイレーザーを使用し、以下の皮膚病変に対して治療を行っています。

585nmの波長は、酸化ヘモグロビンに選択的に吸収される特性があり、血管病変や赤みの改善に効果を発揮します。微細なドット状の照射方式や調整可能な出力により、ダウンタイムや痛みを抑えた施術が可能です。

・1回の施術でも効果を実感される場合がありますが、通常は3～5回程度の施術を2～4週間おきに行うことで、より安定した効果が得られます。

※症状の程度や治療への反応により、回数・間隔は変更される場合があります。

・効果には個人差があります。また、部位によっては際立った効果が見られないことがあります。

・施術中強い光を生じます。痛みや熱感を感じることもございます。強い不快感を感じましたらスタッフにお知らせください。

・施術後、発赤、熱感、むくみなど感じる場合があります。通常直後から、2～3日程度で収まります。

・強い赤みおよび熱感が続く場合にはご自宅でアイスパックなどでクーリングをなさってください。

・ごくまれに紫斑（あざのような跡）や色素沈着が一時的に起こることがあります。

・肌のターンオーバーに伴い、一時的にくすみが強くなる場合がありますが、経過とともに改善します。

・一時的な赤み、腫れ、ヒリヒリ感、紫斑、かさぶた

・色素沈着や脱色素斑（色抜け）が起こる可能性があります

・毛包炎が一時的にできる場合もありますが軽快しない場合はステロイドの処方をいたします。

・日焼けによる色素沈着を防ぐため、紫外線対策を行ってください。

・施術部位を無理にこすったり、皮膚スクラブ製品の使用や角質除去は避けるようにしてください。

・当日は飲酒を禁止し、サウナ、半身浴、激しい運動は避けるようにしてください。

・治療の経過により、発赤・痛みが長引いたり、水泡を形成した場合は、必要な処置を施しますので当院にご連絡ください。

・インプラント挿入部分、ヒアルロン酸注入直後の部分は避けて照射致しますので施術時にスタッフにお申し出ください。

<下記の方はRF治療をお受けることができません>

・妊娠中または授乳中の方

・光線過敏症の既往がある方

・重度の日焼け直後、もしくは強い日焼けを予定されている方

・活動性の皮膚感染症がある部位（ヘルペス、化膿など）

・ケロイド体質の方（部位により要相談）

・てんかんの既往がある方（強い光刺激により発作を誘発する恐れあり）

・金の糸など金属製異物が皮下に入っている部位

- ・出血傾向や抗凝固薬内服中でコントロールが困難な方
- ・精神疾患などで適切な同意が得られないと判断される場合
- ・1w以内にボトックス、ヒアルロン酸注入した部位

★トレチノイン使用されている方は施術前2週間、高濃度レチノールを使用されている方は前1週間、過酸化ベンゾイルを使用されている方は前3日、使用をお控え下さい。

刺激が少なく、皮むけや赤みが起こりにくいレチノール製品であれば、前日までの使用が可能です。

施術時に赤みや皮むけがあった場合照射ができない可能性があります。

★直後は、刺激の少ないスキンケアで保湿を徹底し、肌状態に問題がなければ2, 3日後からレチノールやビタミンC、美白剤などの使用を再開してください。

★授乳中の方は、術後48時間は断乳して頂きますようお願い致します。

医療法人社団桜恵会 THE ONE.